

Contents

- ・第9回医療連携フォーラムのご報告
- ・診療科紹介
- ・肥満外来のご案内
- ・10月就任教授のご紹介
- ・小児近視外来のご案内
- ・公開講演会
- ・創立記念日に伴う休診日



編集：杏林大学医学部附属病院
杏林学園広報室
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511(代表)



第9回 杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラムのご報告

当院では、地域の医療従事者の皆様と「顔の見える連携」を深めるために、2025年10月9日（木）に第9回 杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラムを開催いたしました。多くの方にご参加いただき、連携をより深めることができました。

ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

第1部 講演会

病院長挨拶 / 来賓挨拶（三鷹市医師会 渡邊直幸会長）

患者支援センター紹介 / 診療科講演

「貧血性疾患の診断と治療」

血液内科教授 荒井俊也

「聴力と幸せな老後の関係」

耳鼻咽喉科・頭頸科臨床教授 増田正次

「高齢者の救急医療について」

救急総合診療科教授 長谷川浩

「当院における Patient Flow Management 導入について」

消化器内科准教授 土岐真朗

第2部 情報交換会



肥満外来のご案内

糖尿病・内分泌・代謝内科では、食事療法・運動療法に加え、薬物療法による内科的治療を専門とする「肥満外来」（水曜日午後）を2025年4月から開設しています。

診療は『肥満症の効能又は効果を有する製剤の最適使用推進ガイドライン』に基づき、保険診療で行います。自費診療での薬剤処方はありません。薬物療法の対象は、以下すべての条件に該当する患者さんとなります。

- 肥満症と診断されていること
- 高血圧・脂質異常症・2型糖尿病のいずれかを有すること
- 以下のいずれかに該当すること
 - BMI 27kg/m² 以上で、かつ2つ以上の肥満関連健康障害を有する場合
 - BMI 35kg/m² 以上である場合

治療はまず6か月間の食事療法・運動療法を継続いただき、効果が不十分な際にセマグルチド（ウゴービ®）、チルゼパチド（ゼップバウンド®）による薬物療法を導入いたします。

上記の条件に該当する患者さんがいらっしゃいましたら、診療情報提供書（紹介状）をご用意のうえ、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

小児近視外来のご案内

アイセンターでは、10月7日（火）より「小児近視外来」を開設しました。

本外来は、小児（5歳～15歳以下）を対象とし、近視進行抑制を目的とする診療・相談を専門に行う、自由診療外来です。

【診療日・受付時間】

- ・診療時間：毎週火曜日 午後2時00分～3時30分
- ・予約時間：午後2時00分、2時30分、3時00分（30分ごとの予約制）

【受診予約方法】

- ・完全予約制です。
- ・紹介元の眼科を通じて、患者支援センター地域医療連携係へFAXでお申し込みください。（FAX 0422-44-6897）
- ・紹介状がお手元にあっても、一般の方からのWebや電話による予約は承っておりません。

【詳細・お問い合わせ】

杏林アイセンター小児近視外来

TEL 0422-47-5511（代表）

※火曜日から金曜日の午後3時から午後5時まで

診療科紹介

放射線治療科

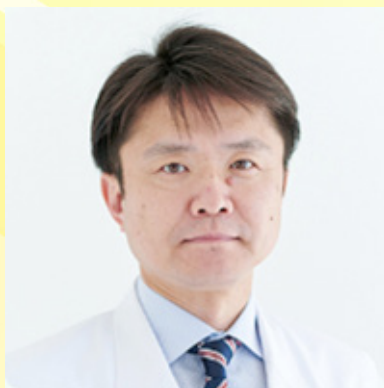
放射線治療の進歩は目覚ましく、根治性は高まり、有害事象は低減しています。

定位放射線治療（SBRT）では腫瘍に集中的に高線量を投与し、I 期肺がんでは手術に匹敵する局所制御が報告されています。そして SBRT は がん診療に大きな変化をもたらしました。転移があってもその数が少ない場合（オリゴメタ）にはそれぞれを制御することで長期生存が得られることがあり、侵襲の少ない SBRT はそのための良い方法であり、適応が広がっています。

強度変調放射線治療（IMRT）では病巣に合わせた、そして正常臓器を避けた線量の投与が可能です。頭頸部領域では腫瘍への線量はそのままに舌や唾液腺の線量を下げることが可能になり、治療効果を損なうことなく、味覚障害や口渇などの有害事象は低減しました。また、前立腺がんでは直腸や膀胱の線量を抑えつつ、前立腺に高線量を投与することが可能になり、手術に並ぶ標準治療となっています。

一方で放射線治療はがんの対症療法として非常に効果的です。骨転移等による疼痛や腫瘍出血等々、様々な症状に対して適応があります。

このように放射線治療は悪性腫瘍の根治治療から対症療法まで幅広く適応がありますので、がんでお困りの際には何でもご相談下さい。



治療部門のスタッフ ▶

診療科長：江原 威
専門：放射線治療全般
特に肺がん、頭頸部腫瘍
食道がん、緩和照射



2025 年 10 月就任教授のご紹介



心臓血管外科
(臨床教授) 遠藤 英仁

杏林大学医学部卒業
同大学大学院修了 博士（医学）
杏林大学病院、自治医科大学附属病院さいたま医療センター等を経て、2008 年杏林大学医学部心臓血管外科学教室 着任

循環器疾患は他臓器と密接に関わり、急性に致死経過をとることがあります。当科は、他診療科とのチーム医療のもと、高度な技術を用いた治療を行うとともに、多摩地区における救命救急医療を担っております。今後も専門性を高め、地域の皆さまに最善の医療をご提供できるよう、より一層精進してまいります。今後とも引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

イベント・公開講演会

日時・会場	テーマ・講師
11 月 15 日（土） 13:00 ～ 16:30 杏林大学医学部付属病院	糖尿病予防フェスタ ◆講演会 テーマ「みんなで考える災害対策」 14:00 ～ 16:00、第 2 病棟 4 階 大学院講堂 ◆フェスタ 血糖値・HbA1c などが測定できる無料体験、 無料相談や展示など 13:00 ～ 16:30、センタープラザ
11 月 18 日（火） 15:00 ～ 16:10 オンライン	杏林大学 2025 年度公開講演会 【心臓弁膜症と切らない弁膜症手術】 医学部循環器内科学 助教 三浦 陽平
11 月 29 日（土） 14:00 ～ 16:00 杏林大学三鷹キャンパス 第 2 病棟 4 階 大学院講堂	第 54 回杏林医学会 市民公開講演会 【アイフレイルを予防する】 ①「QOL を向上させる白内障手術」 医学部眼科学 講師 松木奈央子 ②「忍び寄る緑内障 ～緑内障から目を守るには～」 医学部付属杉並病院眼科 教授 北 善幸 ③「加齢黄斑変性について」 医学部眼科学 教授 岡田アナベルあやめ

11 月 8 日（土）休診日のお知らせ

2025 年度から 11 月の第 2 土曜日を杏林学園の創立記念日（11 月 11 日）の代替日とすることになりました。つきましては、今年度は 2025 年 11 月 8 日（土）を創立記念日の代替日として、休診とさせていただきます。なお、本来の創立記念日である 11 月 11 日（火）は、通常通り診療を行います。あらかじめご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

